



地域のコミュニティ

教育次長 山本 充彦

はじめまして、4月の異動で財政課から教育委員会に参りました教育次長の山本充彦です。よろしくお願ひします。

国の「骨太の方針」による行財政改革が進み、国からの補助金や地方交付税が大幅に削減され、地方自治体の財政は非常に厳しいものがあり、佐渡市におきましても、合併して5年が経過し、合併当時に策定した建設計画や財政計画の見直し、職員の削減や公共施設の統廃合など行財政改革に取り組んでいるところです。

小学校・中学校におきましても、より良い教育環境を整備し、魅力ある学校づくりを目指して「佐渡市学校教育環境整備検討委員会」からの答申をもとに平成18年に策定された「小学校・中学校学校統合計画」に基づきまして、保護者や地域の皆様に統合の必要性について説明をしているところですので、ご理解とご協力をお願いします。

さて、朝晩、真野・両津間約20kmのドライブを楽しんでいます。その沿線には9つの小中学校があり、朝は、お兄さんやお姉さんたちと一緒に登校する元気な小学生、自転車を颯爽と漕いで登校する中学生の姿が見受けられます。

4月には、黄色の帽子をかぶり、小さな体に大きなピカピカのランドセルを背負って不安げに登校していた新1年生も、今ではお兄さんやお姉さんたちと楽しげに登校しており、この3か月で随分成長したように感じられます。

少子高齢化が進み、地域のコミュニティがなくなってきていると言われていています。しかし、保護者や祖父母、そして地域のボランティアの皆さんに見守られながら、元気に楽しく登校する児童生徒の姿を見ていると、「子どもは地域の宝、地域の子どもたちは、地域で守る。」という気持ちが見受けられ、まだまだ佐渡は捨てたもんじゃなないなと感じます。ご協力を頂いている保護者や祖父母、そして地域の皆さんに頭が下がる思いと、感謝の気持ちで一杯です。大変有難うございます。今後も引き続き、よろしくお願ひします。

中学校区計画訪問に向けて

指導主事 川上 治男

2学期から各中学校区ごとに、学校評価の更なる充実を目的とした計画訪問を実施いたします。学校評価の目的は次の2つです。

1年間の学校の取組を振り返り、自校のよさや特色、児童生徒の成長等を確認し、より一層の充実に向けて改善の方向を明確にするために実施

評価結果を外部に公表し、保護者や地域の人々に、児童生徒の成長、教職員の努力等を理解してもらい、学校への信頼を確かなものにしてもらうとともに、改善すべき課題等を共有し、連携・協力して児童生徒の教育に当たるために実施

21年度は、特に次のことについて、工夫・改善に努めていただくようお願ひします。

保護者や地域の人々の声を活かすアンケートや学校関係者評価の実施

学校のことをよく知ってもらったり保護者や地域の人々の意見や要望をとらえたりして課題を共有し、連携・協力を促すアンケートや学校関係者評価に取り組むこと。保護者や地域の人々と共に進める取組の位置付け

保護者や地域の人々と連携・協力して教育を進めるために、「教育活動」や「運営活動」に、一緒になって行うこと・役割分担して行うこと等を位置付けること。

保護者や地域の人々の連携・協力の姿を、次のような視点から検討することも考えられる。

保護者や地域の人々と学校と一緒に企画する。

保護者や地域の人々が直接、児童生徒へ働き掛ける。

学校関係者評価については、文部科学省が3月に示した「学校関係者評価を活かしたよりよい学校づくりに向けて(学校関係者評価参照書)」も併せて参考にしてください。

事故防止に一層の取り組みを

教育指導主事 濱田 毅

夏休みを迎えようとしていますが、一学期も児童生徒に関する事故報告が上がってきています。

事故報告の概要は、交通事故4件、非行事故3件、不審者による声掛事案2件の合計9件となっています。

この時期、この件数が多いか少ないかは判断は出来ませんが、誰が考えても事故は無いに越したことはありません。

中でも命にかかわる交通事故は、同乗中1件を除いて、3件(徒歩1・自転車2)が飛び出しによるものです。幸い大きな事故にならなかったのがせめてもの救いでした。

下越教育事務所管内では、今年は自転車による飛び出し事故が多いのが特徴だそうで、指導の徹底をお願いしたいとの連絡も入っています。

夏休みを控え、児童生徒の事故防止、とりわけ命にかかわることについて、各学校で一層の指導をお願いします。



「いじめ根絶スクール集会」開催

先に、各学校にご案内した通り、今年度もいじめ根絶県民運動の一環として、「いじめ根絶スクール集会」を開催します。

7月1日から、続々と各学校から参加申し込みが届いています。実践発表では、両津小・畑野小・新穂中・赤泊中が、工夫を凝らした形で発表を予定しています。また、当日、進行役の金井中の生徒も張り切っています。

交流活動では、新潟大学教育学部の学生8名の指導による楽器(ストリングラフィー・太鼓・マラカス)作製と、作製した楽器を使った合唱指導を通して、小、中学生が協力し、親睦を深める計画です。

当日の参加について、私有車公務使用届を出しての引率等、大変ご迷惑をおかけしますが何卒よろしくをお願いします。

- 1 期 日 7月31日(金)
- 2 会 場 トキのむら元気館
- 3 時 間 午後1時30分～4時30分
(受付 午後1時より)

落雷事故の防止について

管理主事 児玉勝巳

梅雨明けや入道雲が発達しやすい盛夏の頃は、落雷事故が発生しやすい時季でもあります。雷の電流は一般家庭使用電流の数百～数万倍で、雷の直撃を受けると80%が死亡するといわれています。

落雷する前には、地震と違って必ず予兆がありますから、落雷事故は未然に防ぐことができます。

教育活動中に、「かすかな雷鳴」「モクモクと発達した入道雲」「急に辺りが暗くなる」「突風とともに気温が下がる」「ラジオの雑音」等の予兆を察知したら、躊躇せず、児童生徒を安全な場所に避難させてください。

また、休業中等の児童生徒の落雷事故を防ぐため、落雷の危険性を十分認識させ、早めに安全な場所へ避難する行動がとれるよう、各校で指導してください。

詳しくは、「平成21年6月30日付け、教保第305号通知」を参照ください。



<子ども一人ひとりの 教育的ニーズに応えます>

教育指導主事 逸見 修

市教育委員会では、幼児・児童・生徒の適正な就学を目指して、通常学級での生活を送ることが難しいと予想される子どもたちを早めに把握し、相談・支援体制の充実に努めています。

身近に、次のようなことで気になるお子さんがいましたら、遠慮なくご相談ください。

身支度に時間がかかる。

自分の持ち物をよくなくしてしまう。

友達とのトラブルが多い。

バランスが悪く、つまずいたりぶつかったりする。

話を最後まで聞かず、すぐに行動してしまう。

じっとしていることが苦手で、立ち歩いてしまう。

行事など、特別な活動があると落ち着かなくなり、走り回ったりする。また、緊張し過ぎて動けなくなる。など